【121】

Ver.2508.1

初版：2021年9月 1日
改訂：2025年8月 1日

FULL HEIGHT DOOR®

ステルス枠・インセット枠共通

フルハイトドア®

施工手順書③-1

扉・金物の取付

↓施工動画はコチラ

片開き戸、親子戸

マグネットラッチ仕様

ステルス枠/インセット枠　施工手順書一覧

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
※マルコシリーズの2･3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

共　　通

①木工事	①-1.ステルス枠・標準仕様 ／ ①-2.ステルス枠・準耐火仕様 ／ ①-3.インセット枠仕様
②クロス・塗り壁工事（ステルス枠・インセット枠共通）	
③扉・金物の取付（ステルス枠・インセット枠共通）	③-１．片開き戸、親子戸
	③-２．片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、２枚引違い戸(上吊)
	③-３．２･３枚引込み戸(上吊・連動)、３枚引違い戸(上吊・連動/非連動)
	③-４．片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

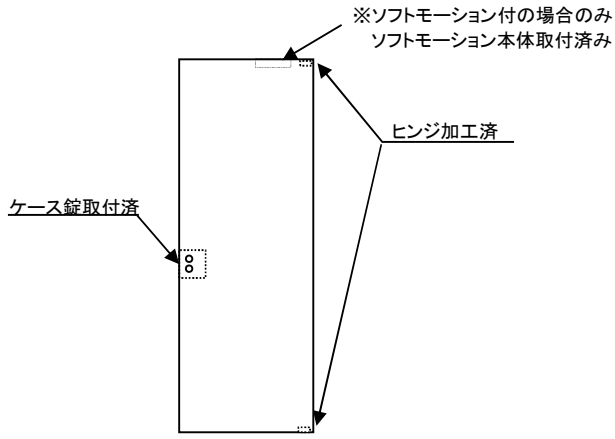
④クローゼット	④-１．折れ戸　④-2. 物入片開き戸、両開き戸、連続開き戸
	④-3. スライド片開き戸
⑤オートマチックドア	⑤-１．片引き戸(上吊)　⑤-2. 片開き戸
⑥ヴェトロ・ミラノ	⑥-１．アウトセット片引き戸(上吊)　⑥-2. 片開き戸
⑦カエサル	⑦-１．スイング戸、両スイング戸、サイドガラスユニット
	⑦-2．アウトセット片引き戸(上吊)
⑧マルコ	⑧-１．3枚引込み戸(上吊・非連動)　⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)
⑨フィット	⑨-１．スイング戸　⑨-2. 片引き戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)、引分け戸

KAMIYA

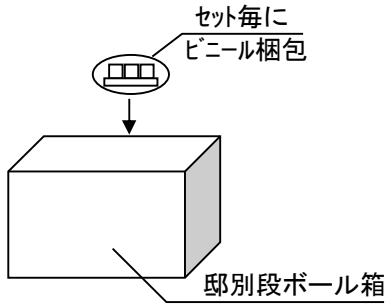
□納品形態

扉と同時に納品されるもの

建具



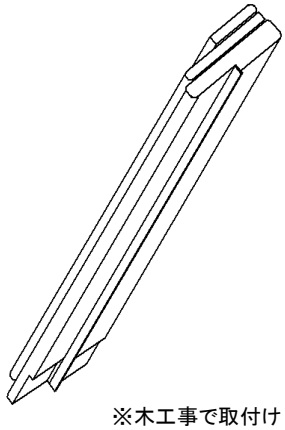
建具金物箱



下地枠と同時に納品されるもの

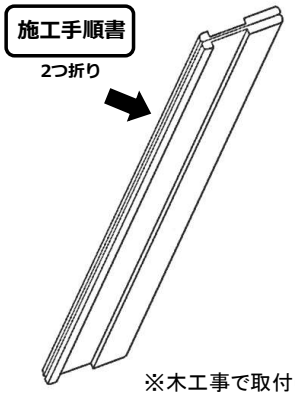
下地枠

ステルス枠の場合



※木工事で取付け

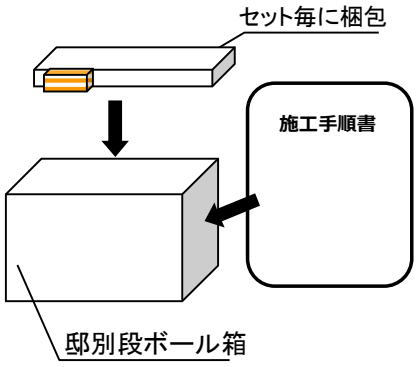
インセット枠の場合



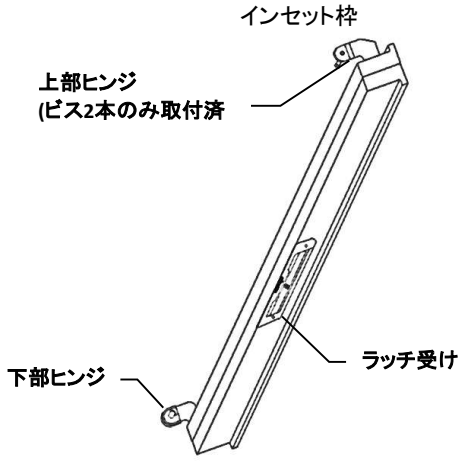
※木工事で取付け
※施工手順書同梱

下地金物箱

ステルス枠の場合



インセット枠と同時に納品されるもの



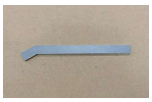
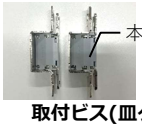
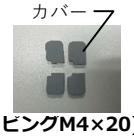
MSビス	ビスキャップ
コーススレットビス	ヒンジ取付用長ビス
ソフトモーション受け座 ※オプション品	

□インセット枠の梱包内容

インセット枠同梱物	片開き戸 標準ヒンジ	片開き戸 OP 隠し丁番	片開き戸 OP ｿﾌﾄﾓｰｼｮﾝ	片開き戸 OP ｺﾝｼｰﾙﾄﾞ	片開き戸 インセット枠	親子戸 標準隠し丁番
MSビス	―	―	―	―	H24：5本 H27：6本	―
ビスキャップ	―	―	―	―	H24：5個 H27：6個	―
コーススレットビス	―	―	―	―	H24：5本 H27：6本	―
ヒンジ取付用 長ビス	―	―	―	―	2本	―
ソフトモーション 受け座	―	―	―	―	1セット	―

下地金物箱	片開き戸 標準ヒンジ	片開き戸 OP 隠し丁番	片開き戸 OP ｿﾌﾄﾓｰｼｮﾝ	片開き戸 OP ｺﾝｼｰﾙﾄﾞ	片開き戸 インセット枠	親子戸 標準隠し丁番
枠側ヒンジ 上部ヒンジ 下部ヒンジ	1セット	―	1セット	―	―※ ※取付用の長ビス2本のみ同梱	―
ラッチ受け	1個	1個	1個	1個	―	―
ソフトモーション 受座（オプション） ※インセット枠の場合、インセット枠に同梱	―	―	1セット	―	―※	―
調整ビス【標準】 スペーサー1ヶ付 ｺｰｽｽﾚｯﾄﾋﾞｽ 準耐火仕様	28本	28本	28本	28本	―	28本
フランス落とし 受け金物	―	―	―	―	―	1セット

□金物箱の梱包内容

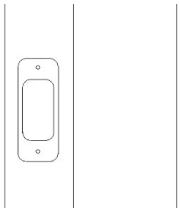
建具金物箱	片開き戸 標準ヒンジ	片開き戸 OP 隠し丁番	片開き戸 OP ｿﾌﾄﾓｰｼｮﾝ	片開き戸 OP ｺﾝｼｰﾙﾄﾞ	片開き戸 インセット枠	親子戸 標準隠し丁番
ハンドル+座 **※注1**	1セット	1セット	1セット	1セット	1セット	1セット
錠+錠カバー+軸アタッチメント **※注1** アタッチメント色 BEST製→黒色 カワジュン製→白色	1セット	1セット	1セット	1セット	1セット	1セット
扉側ヒンジ **上用1ヶ下用1ヶ**	1セット	–	1セット	–	1セット	–
ヒンジカバー ※枠側・扉側の丁番一式で納品されます	1セット	–	1セット	–	1セット	–
ヒンジ用入隅レンチ  ※１邸内で１本納品されます	1本	1本	1本	–	1本	–
隠し丁番（オプション）	–	1セット	–	–	–	2セット
面付隠し丁番（オプション） 扉側  本体 カバー **取付ビス(皿タッピングM4×20)** ディスタントプレート カバー 枠側  **取付ビス(皿タッピングM4×20)** **※インセット枠の場合M4×40**	–	–	–	1セット	–	–
コンシールドストッパー(オプション) **取付ビス(皿タッピングM4×25・M4×35)**	–	–	–	1セット	–	–
吊り込み治具	–	–	–	1個	–	–
ボトムストッパー（別売）	1セット	1セット	1セット	1セット	1セット	1セット

※注1：ベスト製ハンドル、**座、錠は別々の小箱で納品されます。**

枠側ラッチ受け金物の取付

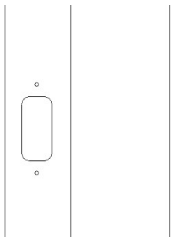
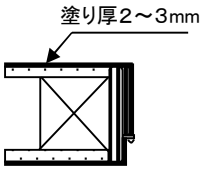
クロスが乾いてからラッチ受け金物の加工部分にカッターで切り込みを入れ、ラッチ受け金物をに取付の際、クロスは巻込んでください。
※インセット枠仕様は取付いた状態で納品されます。

【ステルス枠クロス仕上げの場合】


加工図（クロス仕様）

塗り壁施工前にラッチ受け金物を位置調整し加工部に取り付け、金物のプレート厚と塗り厚が同じになるように塗り壁施工で調整してください。
【注意事項】
ステルス枠「クロス」「塗り壁」仕様では金物の加工形状が異なります。
塗り壁仕様の塗り厚は２～３mmを想定してます。過度な勢いで扉を閉めるとラッチ受け周辺が割れてしまうことがあります。

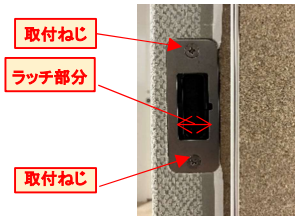
【ステルス枠塗り壁仕上げの場合】


加工図（塗り壁仕様）


※塗り方は【125】施工手順書ｽﾃﾙｽ・ｲﾝｾｯﾄ ｸﾛｽ・塗り壁工事・ﾍﾟｲﾝﾄ(扉)　」をご参照く

ラッチ受けの調整

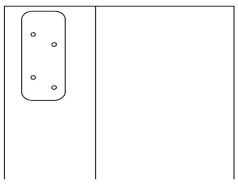
ラッチ受けの調整は、建具の吊り込み後に手動ドライバーにて前後の調整を行ってください。
上下のビスを緩めて内部のラッチ部分を前後に動かして調整してください。
注意：過度な衝撃が掛かると位置がずれる事があります。



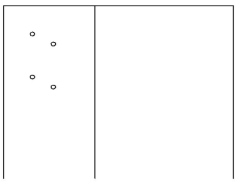
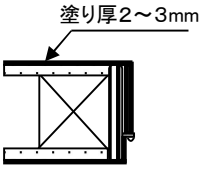
【調整範囲】
手前方向−2.5㎜(手前方向)
後　方向＋2.5㎜(後　方

枠側ヒンジの取付(親子戸の場合は、後頁「隠し丁番の取付」参照)

クロスが乾いてから枠側ヒンジ(上下)の加工部分にカッターで切り込みを入れ、枠側ヒンジ金物を取付の際、クロスは巻込んでください。


加工図（クロス仕様）

塗り壁施工前に枠側ヒンジ(上下)を加工部に取り付け、金物のプレート厚と塗り厚が同じになるように塗り壁施工で調整してください。
【注意事項】
ステルス枠「クロス」「塗り壁」仕様では金物の加工形状が異なります。
塗り壁仕様の塗り厚は２～３mmを想定してます。

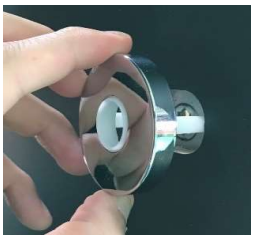

加工図（塗り壁仕様）


【インセット枠の場合】
上部ヒンジに同梱されている長ビス2本で固定していきます。

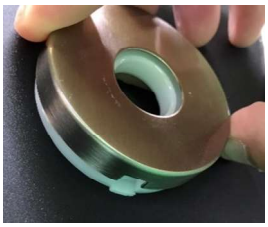
【インセット枠の場合】

ハンドルの取付

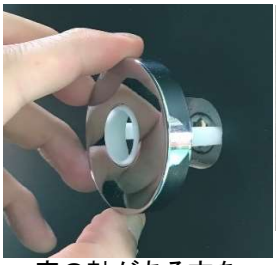
【共通：座の取付け①】
取付ける際は爪がある部分が下に来るように取付けてください。
座のビスの締込みは「カチッ」と鳴った後、更に約半回転を目安に締込んでください。


座の軸がある方を
扉に挿し仕込む

反対側の座を
同梱のビスで止める
※爪が下になる
ように取付

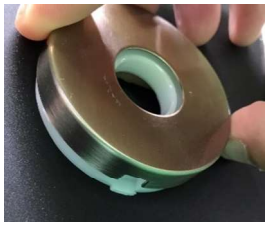

カバーを取付る

【共通：座の取付け②】
ハンドルの種類によっては「カチッ」と鳴らない締め込みタイプのものもありますので**締め込み過ぎにご注意ください。**ハンドル（JF・JG）

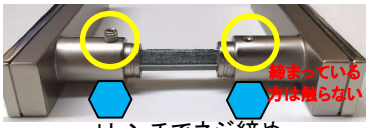

座の軸がある方を
扉に挿し仕込む

反対側の座を
同梱のビスで止める

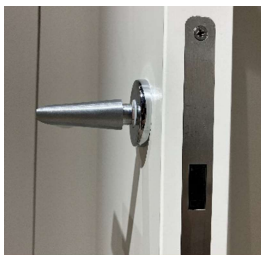
カチッと鳴らない
ハンドル一例
（JF・JG）


カバーを取付る

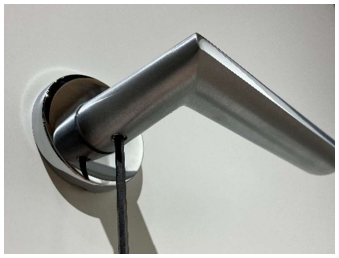
【BEST製ハンドルの場合】
六画ネジが下側になるように取付けてください。**扉戸先木口面から見て右側のハンドルの六角ネジを締め**固定してください。



φレンチでネジ締め

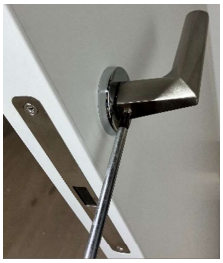

芯棒がついている側の
六角ネジは外さない

扉戸先木口面から見て右側の
ハンドルの六角ネジを締める


φ3六角レンチでネジ締め

【カワジュン製の場合】
ハンドルを座に差し込み、+ネジを締めてハンドルを固定します。
六角ネジは触らないでください。

芯棒がついている側の
六角ネジは外さない

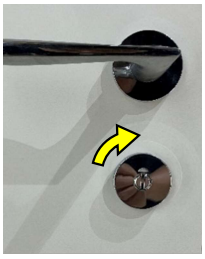

両側から押し付けながら手動+ドライバーでネジ締め

【BEST製錠の取付け】
錠の軸芯を入れる穴に黒色のアタッチメントを取付けてください。
カバーは取付けて右に回す事で固定します。

アタッチメント黒を付ける

錠をｶｾｯﾄに挿し込む

取付ビスで固定する

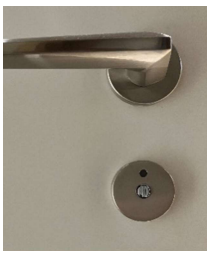

カバーを回し固定する

【カワジュン製錠の取付け】
錠の軸芯を入れる穴に白色のアタッチメントを取付けてください。
錠金物は鍵をかける状態に金物を回すと取付け穴が見えます。
カバーは「パチッ」となるように取り付けてください。

アタッチメント白を付ける

施錠した状態にする

取付ビスで固定する

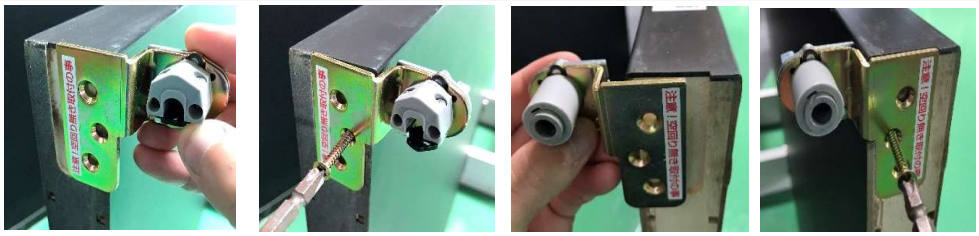

カバーを取り付ける

扉側ヒンジの取付(親子戸の場合は、後頁「隠し丁番の取付」参照)

建具の吊元の上下にヒンジを取り付けます。

注意！

別売のボトムストッパーを取付ける場合吊り込む前に扉側金物を取付ける必要があります。（P15参照）



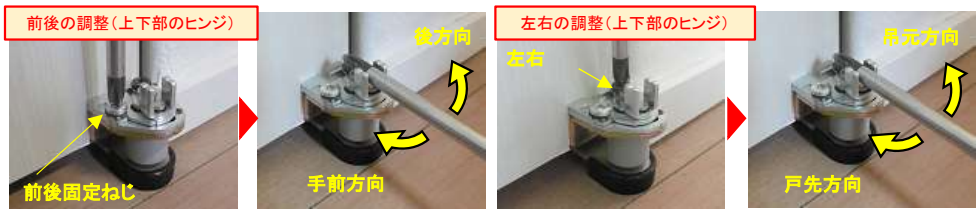
扉の吊り込み(親子戸の場合は、後頁「隠し丁番の取付」参照)

扉を吊り込む前に、上部ヒンジのストッパーを開いておきます。
その後、下部ヒンジ受けの軸に下部ヒンジを差し込みます。

扉側の上部ヒンジを軸の後ろ側から、軸に引っ掛けてください。
最後に、上部ヒンジのストッパーを閉じてください。

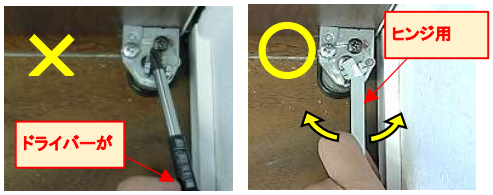
ヒンジの調整(親子戸の場合は、後頁「隠し丁番の取付」参照)

ヒンジの調整は、建具吊り込み後に扉を閉めたままの状態で行います。
前後及び左右の調整はプラスドライバーを左右に動かして調整を行い、上下調整は下部ヒンジの上下調整ねじを回して調整を行ってください。



【調整範囲】
前　方向+2.5㎜
後　方向−1.5㎜
左右方向±2.0㎜

ドライバーが吊元側の壁に当たって調整が出来ない場合は、同梱のヒンジ用入隅レンチを使用し調整を行ってください。



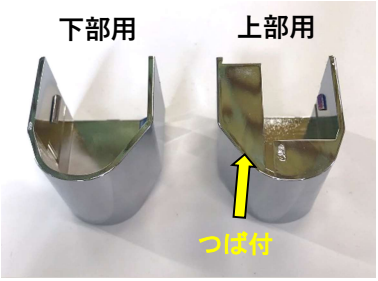
ヒンジカバーの取付

ヒンジカバーは前方からスライドさせて奥まではめ込んでください。

下部

上部

下部用　上部用



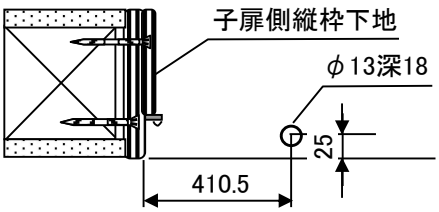
【注意事項】
上部ヒンジのストッパーが閉じている事を確認してください。ストッパーが閉じていないとカバーが奥まで入りません。扉脱落防止の為必ずストッパーを閉じてください。

フランス落とし受け金物の取付(親子戸の場合)

ステルス枠専用

フランス落し受け金物を取り付けます。(上下共、子扉側の枠仕上げ面から410.5㎜。見込み方向は、開き側から25㎜の所が穴のセンターになります)

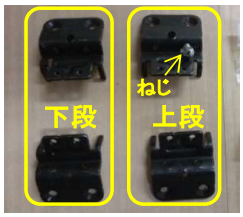
天井・床共通



□隠し丁番（親子戸・オプションの場合）

隠し丁番の取付

枠側に枠側取付ベースを取付けます。
その際、枠上側の上段にはねじ付の枠側取付ベースを取付けてください。
枠側への下穴はφ2.5深さ15～20mmであけてください。

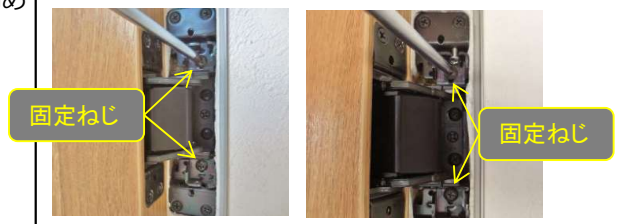


扉側に上用丁番と下用丁番を取付けます。
裏面のシール表示通り、上用と下用を間違えないようにしてください。
扉側への下穴はφ2.5～φ3.0深さ約25mmであけてください。

扉の吊り込み

建具を吊り込みます。
扉側の上用丁番を90°になるようにセットし、吊り込みねじに引っ掛けてください。

下用丁番の固定ねじを締めてください。次に、上用丁番の固定ねじを締めてください。



下用丁番　　上用丁番

□隠し丁番（親子戸・オプションの場合）

隠し丁番の調整

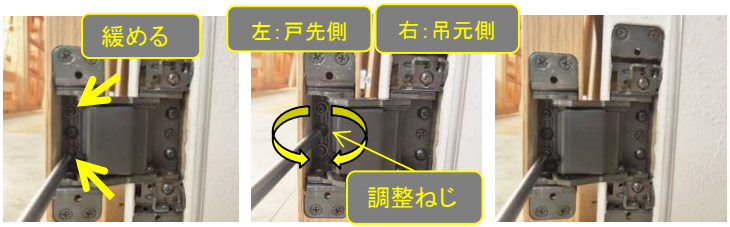
①前後固定ねじ2本を調整が必要な分、緩めてください。
②前後調整ねじを右に回すと前に、左に回すと後ろに移動します。
③調整後に固定ねじを締めます。

【前後調整・枠側】

【調整範囲】
前　方向+2.0㎜
後　方向−2.0㎜

①左右固定ねじ2本を緩めます。
②左右調整ねじを右に回すと吊元側に、左に回すと戸先側に移動します。
③調整後に固定ねじを2本締めます。

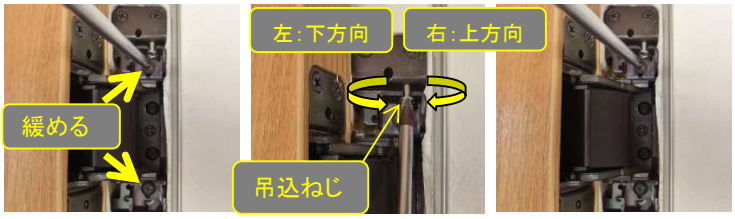
【左右調整・扉側】



【調整範囲】
戸先方向+2.5㎜
吊元方向−1.5㎜

①上用丁番、下用丁番の上下固定ねじを半回転緩めます。
②上用丁番の吊り込みねじを右に回すと上方向へ、左に回すと下方向へ移動します。
③調整後、上用丁番、下用丁番の固定ねじを締めます。

【上下調整・枠側】



【調整範囲】
上　方向+2.0㎜
下　方向−2.0㎜

隠し丁番カバーの取付

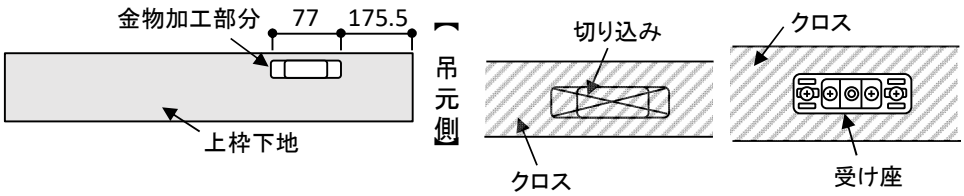
枠側カバーと扉側カバーを取り付けてください

□ソフトモーション

ソフトモーションの取付・調整

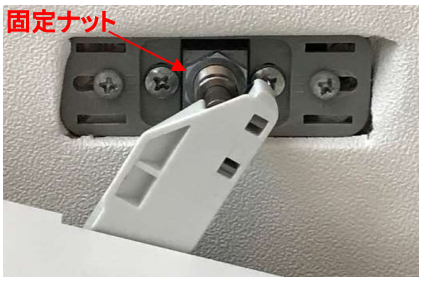
<受け座の取付>

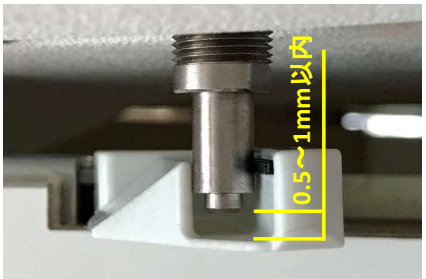
クロス施工後に、上枠下地の金物の加工部分にカッターで切り込みを入れ、ソフトモーション受け座を、加工中央部に取り付けます。



<扉側引込みアームと受け座の勘合>

扉を吊り込み、扉をゆっくり閉じきった後、扉を開けると、扉上部の本体引き込みアームが飛び出します。受け金物の受座軸が本体引込みアームの溝から離れすぎていたり、接触している場合は、下記のとおり調整してください。



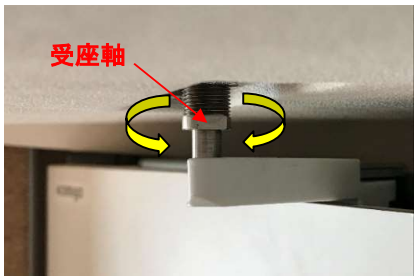


<調整>

・上下調整

受け金物の固定ナット(上写真)をゆるめ、受座軸を回しながら上下方向の調整を行い、固定ナットを固定してください。

上下調整範囲：+0.5mm/-3.5mm



注意！
引き込みアームと受け座軸が接触していると正しい動作が出来ないと共に、破損の原因となります。
正しい位置に調整して下さい。

・左右・前後調整

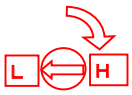
受け金物の調整ねじをゆるめて調整を行い、調整ねじを固定してください。

・速度調整

開閉速度が速い場合は、扉上部木口に取付済みのソフトモーション本体のダンパー調整軸をマイナスドライバーで180°回して調整してください。

左右調整の場合

前後調整の場合



	ダンパー調整軸向き
遅くしたい場合	矢印　H側
速くしたい場合	矢印　L側

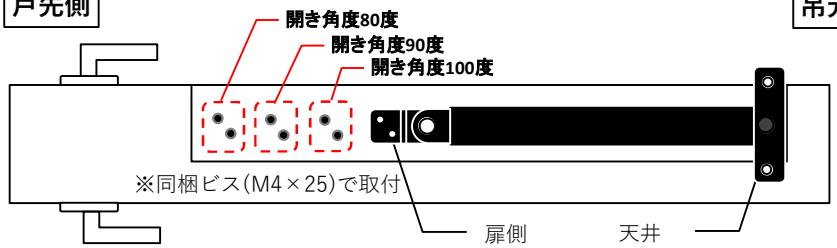
<受け座カバーの取付>

調整が終わったら、ソフトモーション受座に受座カバーを取り付けてください。

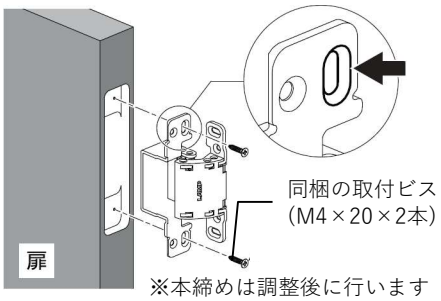
扉に金物取付

①レバーストッパーの扉側を扉上部の戸先側に既存の下穴に合わせて取付る

注)開き角度に合わせて取付位置を変えてください。



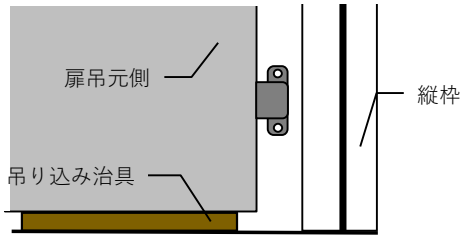
②隠し丁番を扉の2カ所に仮固定する



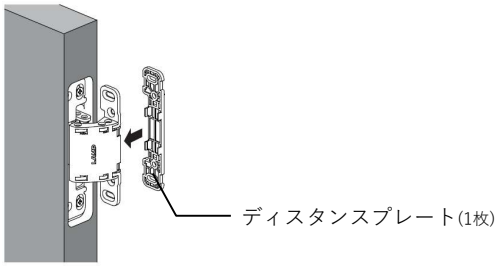
※本締めは調整後に行います

枠に隠し丁番取付

①吊り込み治具に扉を乗せる

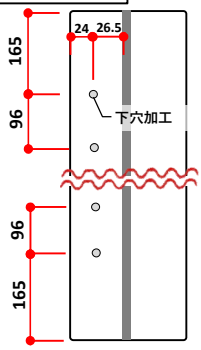


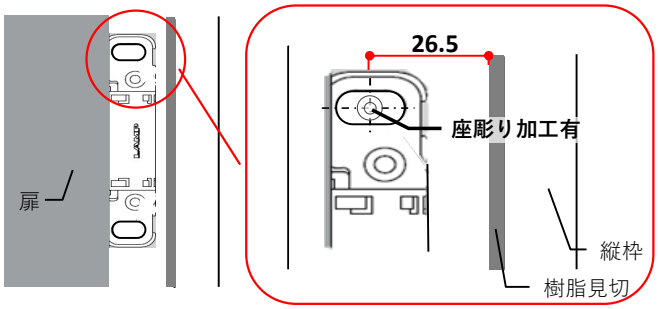
②ディスタンスプレートを取付る

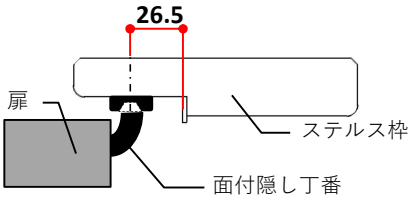


③隠し丁番を縦枠に寄せて取付位置の確認

ステルス枠の場合

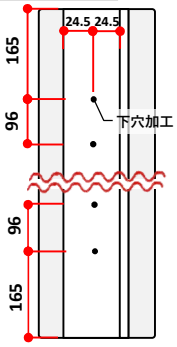


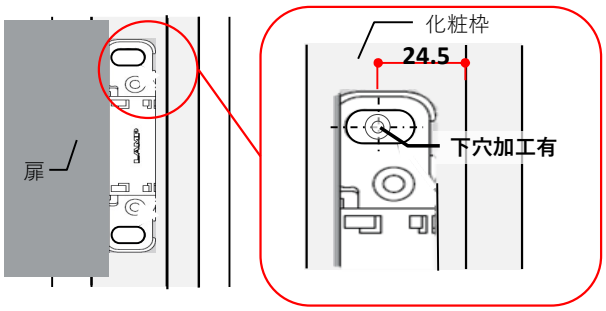


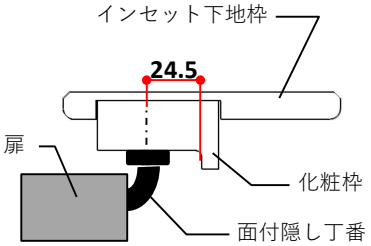


注意！　枠側の下地穴加工はクロス施工時にパテ埋めしないで下さい。正しい位置に扉が吊り込めなくな

インセット枠の場合

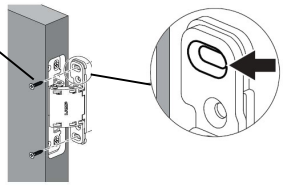






注意！　枠側の下地穴加工はクロス施工時にパテ埋めしないで下さい。正しい位置に扉が吊り込めなくな

④確認した位置に同梱の取付ビスで取付

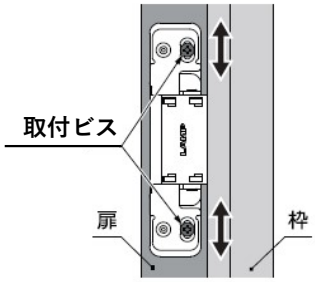


インセット枠の場合、同梱のビス(M4×40×2本)で取付

□コンシールドストッパー

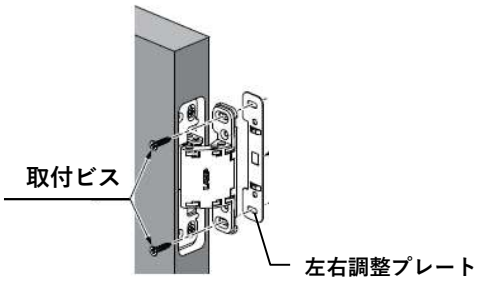
調整

上下調整(±2mm)



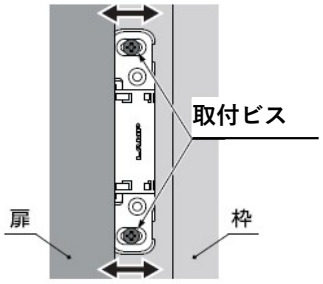
扉側の長穴の取付ビスを緩めて扉を上下に動かして調整

左右調整(+1mm)



枠側の取付ビスを外して左右調整プレートを挟んで再度取付

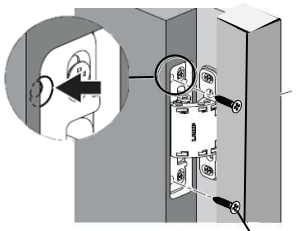
前後調整(±3mm)



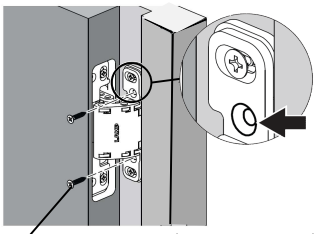
枠側の取付ビスを緩めて扉を左右に動かして調整

隠し丁番の固定

扉側に同梱の取付ビスで固定



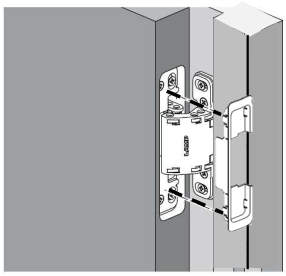
枠側に同梱の取付ビスで固定



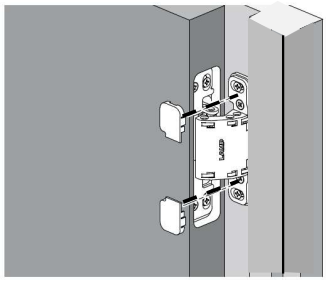
※インセット枠の場合、
同梱ビス(M4×40×2本)で取付

カバーの取付

扉側



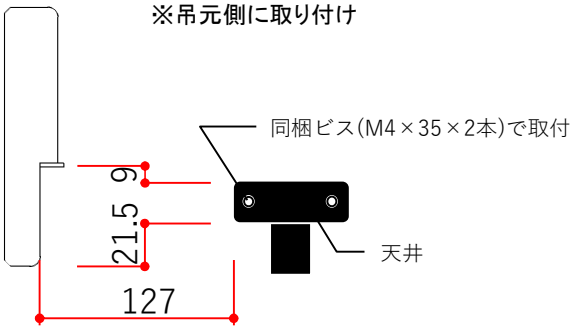
枠側



コンシールドストッパー　天井面取付

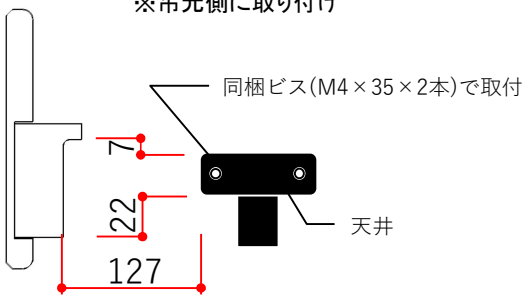
ステルス

下穴を空けてから同梱ビス(M4×35)で取付
※吊元側に取り付け



インセット枠

下穴を空けてから同梱ビス(M4×35)で取付
※吊元側に取り付け

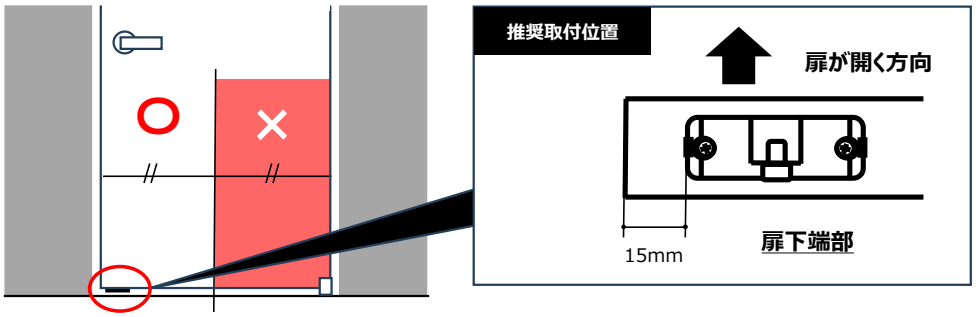


別売ストッパー取付時の注意点

<ボトムストッパー>

・扉を吊り込む前に扉側金物を扉側に取付けてください。

・扉の中央より吊元側には取付ないでください。ボトムストッパー及びヒンジの破損や脱落の恐れがあります。



注意！

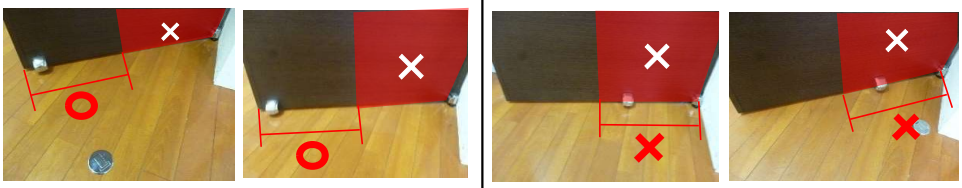
・床に浪打ち、凹凸の無い水平な面に取付てください。

・クッションフロアや、カーペットには取付られません。

<床付けマグネットストッパー>

扉の中央より吊元側には取付ないでください。床付けマグネットストッパー、及びヒンジの破損や脱落の恐れがあります。

取付けは同梱の取付手順書を確認ください。



○　　×

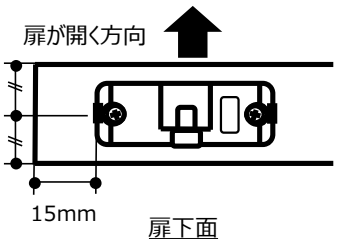
ボトムストッパー取付位置について

<扉側金物の取付位置>

●扉下面に扉側金物を取付けます。

●戸先側から15mm離した位置が推奨位置となります。

●扉厚み方向の中心に取付けます。



<任意位置>

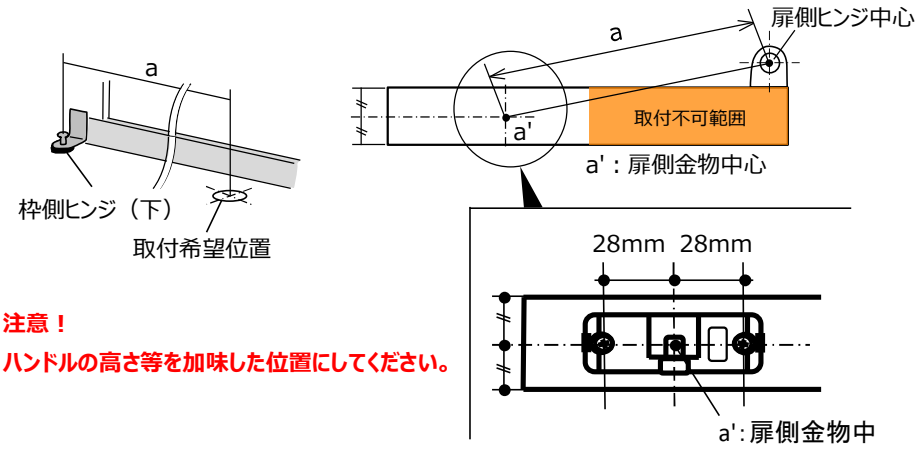
● 取付希望の位置と枠側ヒンジ中心の距離を計測（a）します。

● aの寸法を扉下端に移します。

扉側ヒンジ中心から、扉厚み中心線に(a')を付けます。

● a'を中心に左右28mmの所に印を付けます。

● 扉下面に扉側金物を取付けます。

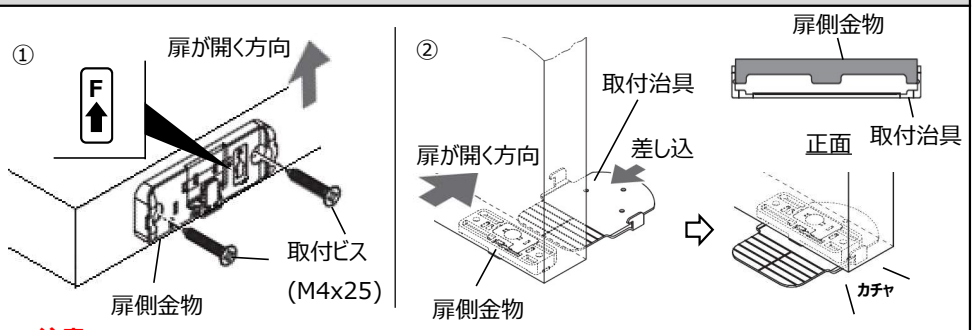


注意！

ハンドルの高さ等を加味した位置にしてください。

ボトムストッパーの取付

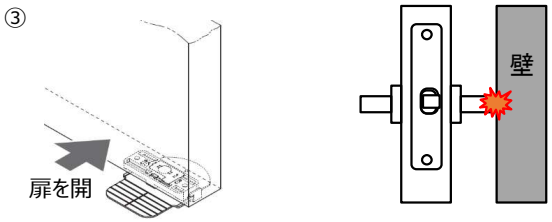
① 扉の吊り込み前に扉側金物を取付ます。”➡ F”マークを扉が開く方向へ合わせ下穴を開け、同梱ビスで取付けます。
② 扉を吊り込み、図のように扉側金物に取付治具を扉の下から差し込みます。



注意！

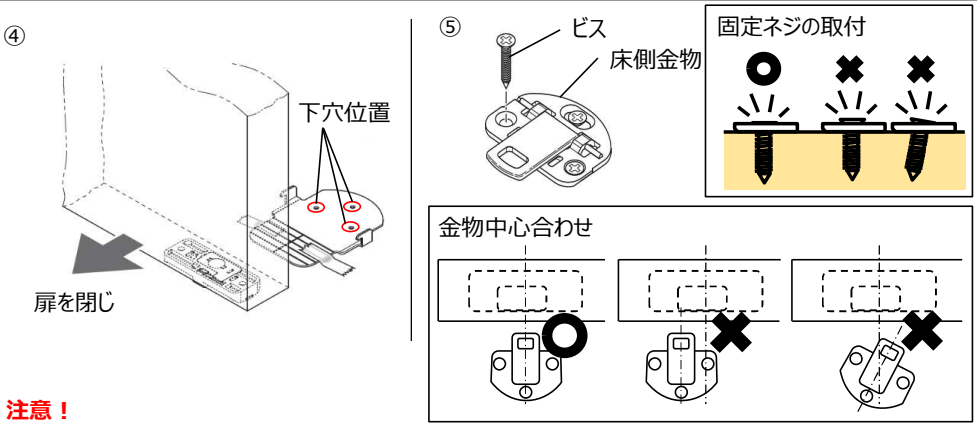
扉側金物に治具が入らない、浮いてしまう場合は扉の上下調整をしてください。

③ 取付治具を扉側金物に引っ掛けたまま扉を止めたい位置まで開きます。



注意！
壁等、障害物に当たらない位置に取付てください。

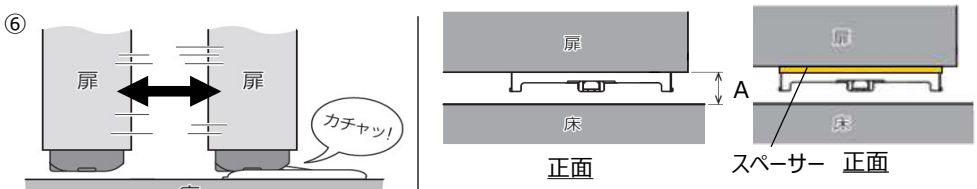
④ 取付治具の位置がずれない様にマスキングテープで固定し手でしっかり押さえ、扉を引きます。
取付治具の3か所の丸穴位置に印を付け下穴を開けます。
⑤ 治具を外し下穴に床側金物を合わせて、同梱ビス(M3x16)で取付けます。



注意！

・固定ネジの頭が金具上面から飛出さない様に下さい。樹脂カバーが取付られなくなります。
・扉と床の金物の中心がずれていると正しく機能しません。中心を合わせて取付てください。

⑥ 取付が完了したら扉を2～3回開閉し、扉側金具と床側金物のキャッチ機能が正常に作動するか確認します。
右表で扉と床のクリアランス(A)を確認し、必要に応じて、扉側スペーサー(2mm/枚)を取付けてください。
標準は、A: 11～15mmとなります。



扉と床の クリアランス(A)	扉側スペーサー
11～15mm	0枚
15～17mm	1枚
17～19mm	2枚

注意！

床との距離が大きいと正常に機能せず壁等に当たる可能性があります。